

## 「笑顔あふれる阿久根市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略（案）」に関するパブリックコメントによる御意見と市の考え方（回答）

いただいた御意見と市の考え方は、次のとおりです。

番号	御意見の内容（原文のまま）	市の考え方（回答及び対応）
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客は思い出づくりにもお金を払っている。まず、案内をしてふれあいをさせる。</li> <li>・出水市にはテレビをもっている。阿久根市はもっていない。</li> <li>・鹿児島から1時間半とか紹介するな！！新幹線駅から車で何分 近くに感じさせる工夫を。</li> <li>・脇本海水浴場のすぐ近くでどでカボチャ祭りがあった。浴場は人が多いが、どでカボチャ祭りは地元民の方が多かった。おもしろそうとか珍しいとか、その気にさせ、人の移動が出来たらなと思った。川内近辺の泳ぎの人がちょっとのぞいて見ようかなとまあ、のれんをあけるような感じ。気にいったら土産に何か買う。</li> <li>・何か商売下手だなと。例えば道の駅に、おしゃべりをして大島の紹介をしたりしてくれる人が欲しいなと思った。</li> <li>・ホームページではなく人を介して発信。</li> </ul>	<p>阿久根市の紹介（アクセス）、市内で開催されるイベントに関する周知方法、来訪者等への対応についての御意見と承ります。</p> <p>P 5 2の重点目標2－② 「阿久根に来る人を増やす（交流人口の増大）」及びP 5 3の重点目標2－③ 「阿久根のファンを増やす」を中心に、さまざまな機会をとらえ、総合的に取り組むべき内容であり、人と人とのつながりを大切にするとの考えの下、阿久根「市民」によるおもてなし、より効果的なイベントの周知方法、情報提供・情報発信の取り組みを進めてまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標2－① 市内9小学校を校区に分け、校区毎に公民館、交流館をリノベーション等で安価に改装し、賑わいを作り、集落単位で賑わいを作る。各集落の特徴に合った地域おこし協力隊を20名登用し、各地区に居住及び赴任し、その特徴にあった事業に従事させる。</li> </ul>	<p>地域おこし協力隊を活用し、地域の実情に応じた事業の実施等による地域の活性化についての御意見と承ります。</p> <p>P 5 2に掲載しております【個別施策・事業】のうち、「地域おこし協力隊を活用した移住定住の促進」において、さまざまな分野での隊員の導入・活用を図ってまいります。その中で、「空き家住宅の活用、移住定住を促進する施策」でも地域おこし協力隊員を配置し、それぞれの地域で隊員を受け入れる体制づくりを行いながら、地域の課題解決、賑わい創出、活性化に向けた取り組みに従事する隊員の募集・配置をしてまいりたいと考えております。</p>

<p>・重点目標 2-②</p> <p>阿久根駅から国道 499 号線，漁協，旧薩摩街道，旧港までの町並みを徒歩で周遊できる町並みに整備し，子どもたちが遊べ，高齢者や観光客がゆっくり「あくね時間」を満喫できる空間を作る。</p>	<p>地域の特性，歴史，文化を生かしたまちづくり（景観整備）についての御意見と承ります。</p> <p>P 53 に掲載しております【個別施策・事業】のうち，「歴史資源を生かした観光地づくり」において，御提案いただいた阿久根駅から旧港までのルートも含め，観光客が周遊できる環境，快適な景観の整備に努めてまいりたいと考えております。</p>
<p>・重点目標 4-①</p> <p>再生可能エネルギーの F S 事業を実施する。電力消費量，化石燃料消費量の把握，及び域外流出しているエネルギー資金量を把握する。エネルギー賦存量を把握する。再生可能エネルギーファンド創生の取組を始める。</p>	<p>再生可能エネルギーの積極的な活用についての御意見と承ります。</p> <p>P 58 に掲載しております【施策の方向性】の「地域資源としての再生可能エネルギーを生み出し，またそのエネルギーの地産地消による自然と人が共生できる循環型社会の構築を目指すための取り組みを進める。」を受け，【個別施策・事業】の「再生可能エネルギービジョン策定及び導入促進事業」の中で，本市における再生可能エネルギーの F S（導入可能性調査）事業，各種データの収集及び把握，再生可能エネルギーに係るファンド創設の検討に取り組んでまいりたいと考えております。</p>